

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 金刀比羅作成日: 平成 27年 8 月 5 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	ケアプランを意味あるものにする為には、理念はかかせない道しるべである。今一度、職員一人ひとりが理念の意味を理解し点(個人)ではなく、円(チーム)になり目標をもってケアを行っていく。	理念の想いを具体的に示したものが、ケアプランではないかという考え方で、スタッフ会議を行う。入居者の方の生き甲斐が、ケアプランに反映され、同じ目標をもって生活していけるよう、また常に理念に添った考え方であるかその都度、スタッフ全員で確認していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	ホームの3ユニットが、2階、3階、4階にあるので、非常災害時には消防署と連携して、避難誘導の方法や、一時避難場所からの救出方法、利用者が、煙を吸わないように防火ドアをきちんと閉めて、濡れタオルで鼻を押さえる等、マニュアル化して取り組んでいく。	夜勤者3人で、27人の利用者を安全に避難誘導できるように、定期的に自主避難訓練を目標タイムを設定して、クリアするまで挑戦し、利用者全員が安全に救出できるように取り組んでいく。また、防災意識を職員一人ひとりが自覚し、火を出さない取り組みを実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。